

# 令和6年 能登半島地震支援状況(県土整備部)

◆ 令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」について、県土整備部による支援の状況をまとめた資料です。【4月末時点】

- (1) 被災建築物応急危険度判定士の派遣
- (2) 被災宅地危険度判定士の派遣
- (3) 応急仮設住宅建設関係職員の派遣
- (4) 被災者への県営住宅の提供
- (5) 下水道関係職員の派遣
- (6) 現在の派遣状況



## （1）被災建築物応急危険度判定士の派遣

### 【派遣期間】

1月4日(木)～1月19日(金)  
(判定活動は5日(金)～18日(木))

### 【派遣人数等】

延べ派遣人数：114人      判定棟数：2,085棟  
(三重県、津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、  
名張市、亀山市、伊賀市、川越町、(一社)三重県建築士会)

【派遣先】羽咋市、中能登町、穴水町

### 【活動内容】

余震等による建築物の倒壊、部材の落下等から生じる  
二次災害を防止し、住民の安全確保を図るため、  
建築物の危険度を判定・表示。

(「危険」「要注意」「調査済」の3種)



判定活動状況

## （2）被災宅地危険度判定士の派遣

### 【派遣期間】

2月13日(火)～2月18日(日)

### 【派遣人数等】

延べ派遣人数：12人      判定数：199  
(三重県、松阪市、鈴鹿市)

【派遣先】内灘町

### 【活動内容】

大規模な地震により宅地が大規模かつ広範囲に被災した場合、  
住民の安全を確保するため、宅地の危険度を判定・表示することにより、  
被害の発生状況を迅速かつ的確に把握し、宅地の二次災害の軽減・防止を図る。



## （3）応急仮設住宅建設関係職員の派遣

### 【派遣期間】

- 第1次：3月4日(月)～ 3月10日(日)
- 第2次：3月11日(月)～ 3月17日(日)
- 第3次：6月24日(月)～ 6月30日(日)

### 【派遣人数】

- 第1次：3人（建築職1名、電気職1名、機械職1名）
- 第2次：3人（建築職1名、電気職1名、機械職1名）
- 第3次：2人（電気職1名、機械職1名）（予定）

### 【活動内容】

石川県庁又は応急仮設住宅の建設現場において応急仮設住宅の建設に係る業務

## （4）被災者への県営住宅の提供

提供する県営住宅

- （1）提供戸数 31戸（うち1戸入居済み）
- （2）地区別内訳 四日市市9戸、鈴鹿市5戸、津市16戸、伊勢市1戸
  - ※ 必要な生活物資等（家電・寝具等）を1年間無償で貸出予定
  - 家賃は無償、敷金は免除

## （5）下水道関係職員の派遣

### 【活動内容】

#### ① 下水道管きよの一次調査

二次調査の必要性判定や復旧計画立案に必要な情報を得るために行う、マンホールを開放しての目視調査

派遣先	調査期間
能美市	1月8日～1月16日
内灘町	2月19日～2月23日 3月22日～3月27日

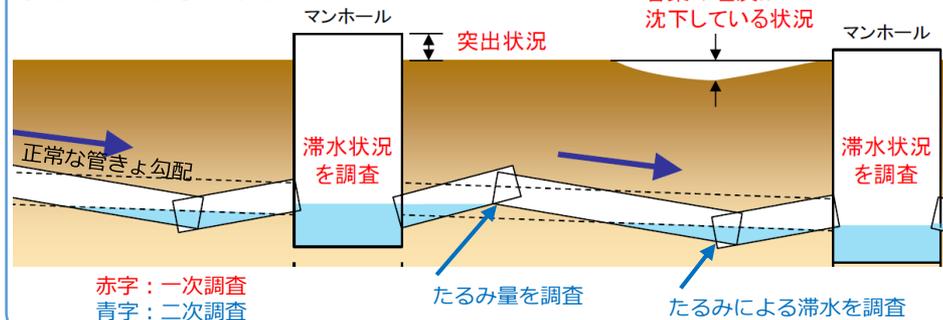


#### ② 下水道管きよの二次調査

本復旧設計に必要な情報を得るために行うTVカメラ調査

派遣先	調査期間
能美市	1月15日～2月16日
珠洲市	4月6日～4月13日

### 下水道管きよ被災イメージ



### 【派遣人数】

延べ派遣人数 256人

（三重県、津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、亀山市、いなべ市、菰野町）

### 調査状況



一次調査状況  
（マンホール上部から確認）



二次調査状況  
（管きよ内へカメラを挿入）

## （6）現在の派遣状況

### （1）下水道関係職員の中長期派遣

#### 【派遣期間】

令和6年4月から概ね1年間の予定

#### 【活動内容】

各市で主に災害復旧業務を行う。

#### 【県内の派遣元 → 派遣先】

四日市市 → 富山県高岡市

伊勢市 → 富山県氷見市

桑名市 → 石川県小松市

### （2）三重県土木技師の中長期派遣

#### 【派遣期間】

令和6年4月から概ね1年間の予定

#### 【活動内容】

石川県輪島市役所で  
主に土木災害復旧業務を行う。